ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

ボーリングNO.

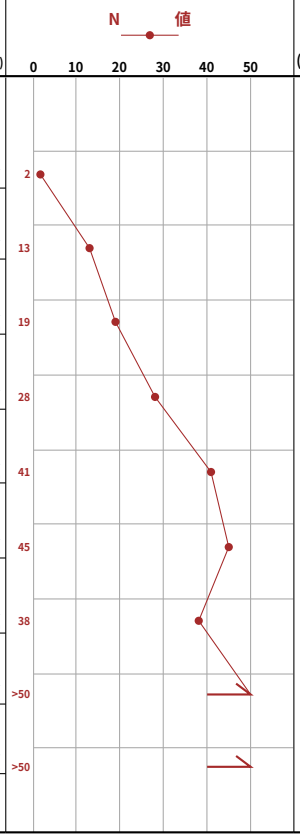
シートNO.

ボーリング名	NO.BV-2(宿2号)	調査位置				北　緯	36 ° 41 ' 18.0000 "
発注機関	栃木県烏山土木事務所			調査期間	2008-11-27 ～ 2009-03-10	東　経	140 ° 05 ' 59.0000 "
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	142.55 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南 .00 °	地盤勾配	鉛直 水平 0° 90° 35.00 °	使用機種	試錐機	ハンマー落下用具	
総掘進長	9.33 m								エンジン	ポンプ	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
1	140.75	1.80	1.80		表土 (SF)	茶褐灰		軟らかい	上部10cm腐植土。 砂混じり粘土主体。 粘土はローム主体で、全体に植物根、有機物少量混じる。 礫径2から15mmの礫点在。		
2	139.65	1.10	2.90		固結粘土 (CC)	暗褐灰		中位	粘着中となり、礫径2から80mmの円、亜円礫所々混じる。 均一に少量の細砂混じる。全体に風化礫少量混じる。 2.70から2.90m間、火山灰質。		
3	133.22	6.43	9.33		粘土混り砂礫 (GS-C)	暗褐灰	中ぐらい 密な		礫径2から40mmの亜円、風化礫(腐れ礫)主体。 礫間粗中砂、固結状の凝灰質粘土にて充填。 最大礫径90mm程度の礫混じる。 6.50mまで含水無し。 6.70m付近より含水比は中位から高位となる。 8.0mから含水比は中位。		01/26 6.70

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	1／21	1／14		2／35	2
1.50					
2.15	4	4	5	13／30	13
2.45					
3.15	6	6	7	19／30	19
3.45					
4.15	8	9	11	28／30	28
4.45					
5.15	11	14	16	41／30	41
5.45					
6.15	13	14	18	45／30	45
6.45					
7.15	11	13	14	38／30	38
7.45					
8.15	24	19	7／5	50／25	>50
8.40					
9.15	27	23／8		50／18	>50
9.33					



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
1.15	1	A		
2.15	2	A		
3.15	3	A		
4.15	4	A		
5.15	5	A		
6.15	6	A		
7.15	7	A		
8.15	8	A		01/26
9.15	9	A		01/27